

新型コロナウイルス感染予防のための当センターの取り組み

相模原総合健診センター

1. 基本姿勢

新型コロナウイルス感染症対策としていわゆる「3密」（密閉・密集・密接）を避けることとされています。当センターでも3つの密をそれぞれを可能な限り回避することにより、受診環境の確保に努めます。

2. 受診環境の確保

- ・受診者の「密集」を避けるため、1日の予約者数、予約時間帯等を調整します。
- ・マスク（サージカルマスク、布マスク等）着用をしていただきます。
- ・速やかに問診、体温測定を行い、受診者の健康状態を確認いたします。
- ・発熱があるなど、当日の受診が不相当と判断された場合、後日体調が回復してからの再受診とさせていただきます。
- ・「密集・密接」を避けるため、受診者間の距離を確保するとともに、健診に要する時間を可能な限り短縮します。
- ・受診者と職員はなるべく対面しないよう工夫し、適切な距離を確保するよう配慮します。
- ・室内の換気は、定期的に窓やドアを開けるなどして行います。また、個人情報保護に配慮しながら、一部のドアを開放させていただきます。
- ・受診者が触れる検査機器は受診者毎に、またロッカールーム・トイレ・ドアノブ等受診者が触れる箇所は定期的に、アルコール消毒液または次亜塩素酸水消毒液により清拭し、環境衛生に努めます。

3. 職員が感染源とならないための配慮

- ・職員は毎朝出勤前に体温測定と体調のチェックを行い「自己体調チェックシート」を提出し管理を行っております。なお37.0以上の発熱やその他体調不良を示す自覚症状を認めた場合は、出勤停止としております。
- ・すべての職員はマスクを着用するとともに、アルコール消毒液等による手指消毒を徹底して行います。
- ・職員休憩室やロッカー室も定期的な消毒を行い、職員間で感染防止に努めます。
- ・職員に新型コロナウイルス感染者が発生した場合は、院内感染対策委員会と管理者が中心となり、保健所の指示に基づいた対応（再休業を含む）を直ちに行います。